



コロナ禍の2学期の学校

帝京大学小学校 校長 石井 卓之

オリンピックが終わり、パラリンピックも9月5日の閉会式が近づき、いよいよ大詰めを迎えています。今年の夏休みもデルタ株の広がりを受けて、子どもたちは一定の制限下で過ごしていたことと思います。

さて、学校ではこの状況を厳しく受け止め、2学期の教育活動を以下の方針の基に進めていきます。

◎ 感染防止対策をこれまで以上に徹底し、日常の教育活動を可能な限り止めない

1学期は行事の延期等はしたものの、保護者の皆様のご協力を得て何とか教育活動を進めることができました。しかし、本校におきましても、新型コロナウイルスの感染が起こる可能性をゼロにすることはできないと考えています。また、子どもの感染が拡大している現状を踏まえ、更なる感染防止の徹底を図るために、以下の点でのご協力をお願いいたします。

- 飛沫の飛散をより防ぐことのできる「不織布のマスク」の着用をお願いします。肌荒れ等で着用ができない場合は、個別にご相談ください（教職員は、大学グループからの指示により不織布マスクをしています）。
- マスクを着用していても、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態の場合、「必要な感染予防策」が取られていないとされ、濃厚接触者の候補となります。学校でも引き続き指導をしますが、ご家庭での指導も重要となります。お子様への声かけをお願いします。

なお、教職員（教員、職員、バスの運転手、アフタースクール関係者等子どもの指導に関わる大人）は、大学の職域接種により8月末までに全員が2回のワクチン接種を終えています。

学級閉鎖等について

マスコミの報道もありましたが、8月27日に文部科学省から新型コロナウイルスの感染が確認された場合の学級閉鎖等のガイドラインが出されました。それを受けて本校では次のようにいたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

1 学級閉鎖

同一の学級で1名の感染者が確認された場合、オンライン授業に切り替えます。

- ・ オンライン授業は午前中のみ。
- ・ 学級閉鎖の期間は、7日間（5日目にクラスルームで体調に関するアンケートを実施し、その後の対応を判断する）。

2 学年閉鎖

複数学級が閉鎖となった場合。

※ これまでと同様に、ご家庭の判断で感染予防の徹底を図る場合には、書類の提出をもって欠席ではなく、出席停止とします。

2学期から、3年生～5年生はiPadを導入していきます（9月2日配布予定）。当初の予定以上に「慣れる時間」を増やし、オンライン授業となった場合を想定して授業や家庭学習の学びの質を高めていきます。

先日実施した「新型コロナウイルス感染症に関する保健調査」へのご協力、ありがとうございました。その結果については9月4日の保護者会においてお知らせするとともに、今後の教育活動にも生かしていきます。特に、今後の学校行事や学校のコロナ対応に関する貴重なご意見も多数いただいたことに感謝いたします。